

令和6年度 地域に向けた男女共同参画推進事業（隠岐の島町）実施要綱

1 目的

男女共同参画についての理解がより一層地域の隅々まで広がることを目的とし、隠岐の島町及び隠岐の島町在住の島根県男女共同参画サポーターとの共催で男女共同参画と防災をテーマに講座を開催します。災害時に男女共同参画の視点を持つ意義や、必要性についての気づき、理解を目指します。

また、サポーターが企画段階から関わることで、講座の実施までの流れを市町村と経験・共有し、「サポーターと市町村との関係性の強化」及び「サポーター活動力の強化」を図ります。

2 主催等

主催：島根県、公益財団法人しまね女性センター

共催：隠岐の島町、島根県男女共同参画サポーター（隠岐の島町）

3 実施日時

令和6年10月12日（土）10：00～12：15（135分間）

4 会場

隠岐の島町役場 1F 町民ホール

5 定員

最大50名程度

6 内容

「備えは十分ですか？ 多様な視点で考える防災セミナー」

講義&グループワーク

災害は、時や場所を選ばず私たちに襲います。そのため、日頃から地域での防災について、皆で考え備えることが重要ですが、現状は防災に携わる人が男性に偏り、いざ災害が発生したときに女性の視点が欠けた災害対応になりがちです。その結果、固定的な性別役割分担意識による過度な負担が一方の性別に偏ったり、女性や子ども、高齢者等様々な人のニーズが見落とされたりするなど、命に関わる問題が生じることもあります。そのため、防災について女性の視点で考えることの効果や大切さについて学ぶセミナーを開催します。また、フェーズフリー^注について学び、平時から実践できることを皆で考えることで、地域の防災力を高めることをめざします。

注：フェーズフリー

日常と非日常を分けず「ふだんの暮らしの延長線上に防災がある」と捉え、2つの局面（フェーズ）を自由（フリー）にし、日常で使用しているモノやサービスを災害時に役立てよう！という考え方

講師

相川 康子（あいかわ やすこ）さん（特定非営利活動法人 NPO政策研究所 専務理事）

【プロフィール】

1965年生まれ。神戸新聞社で約20年間勤務し、阪神・淡路大震災の災害報道や防災・復興関連の社説を数多く執筆した。退職後、3年間の神戸大学勤務を経て現職。「災害と男女共同参画」に関して全国300箇所以上で講演を行い、2012年度は復興庁男女共同参画班上席政策調査官を務めた。現在、滋賀県や大阪市等で地方防災会議委員を、滋賀県と京都府で防災士養成講座の講

師を、島根県内ではここ 10 年ほど自主防災組織リーダー研修会の講師を務めている。

7 問い合わせ先

隠岐の島町役場 地域振興課 政策企画係

〒685-8585 隠岐の島町下西 78-2

TEL: 08512-2-8570 FAX: 08512-2-6005